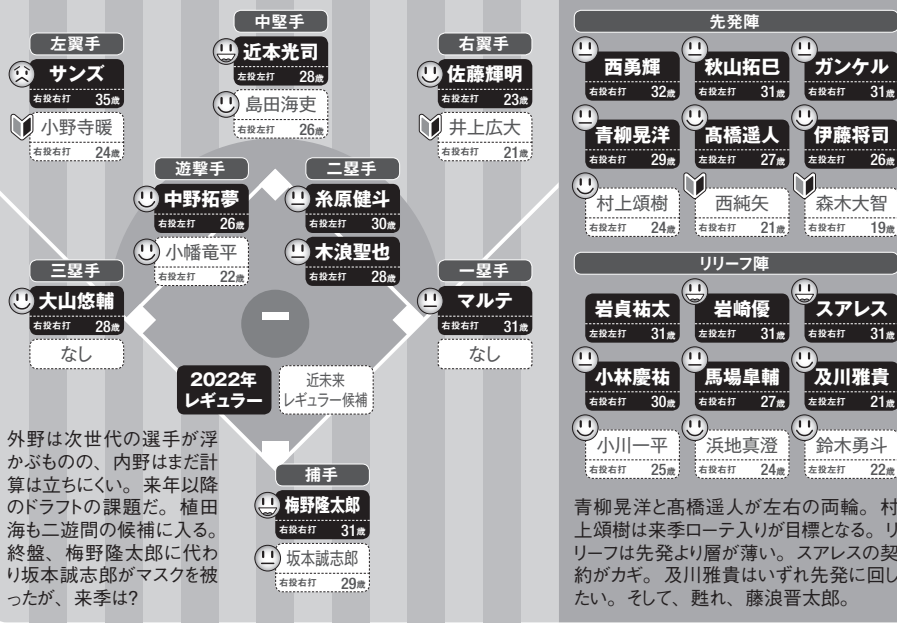


2022年予想布陣と近未来レギュラー候補



※年齢はすべて2022年の満年齢

外野は次世代の選手が浮かぶものの、内野はまだ計算は立ちにくい。来年以降のドラフトの課題だ。植田海も二遊間の候補に入る。終盤、梅野隆太郎に代わり坂本誠志郎がマスクを被ったが、来季は?

会心の指名

森木大智 (高知高)

高知中3年夏に軟式で150キロを計測。スーパー中学生として注目を集め、高校進学後のケガや思うように勝てない経験も糧にして成長した。140キロ後半をコンスタントにマークし、タテのカーブ、横に滑るスライダーの評価も高い。

また、学ぶ意欲が高く、手本となる投手が多い阪神は、森木にとってもプラスの環境だろう。まだ伸びる余地も多くあり、投球の再現性を磨きながらリリーフで場数を踏んで、数年後のローテ入りを目指す。



森木は早熟タイプに見られがちだが、まだ伸びしろがたっぷりある。先発投手陣は安定しているの

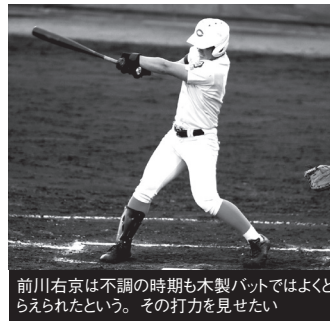
で、2、3年後のローテ入りを目指すのも特長だ。

将来有望

たせるようになれば楽しみ。いまの阪神リリーフ陣にはいないサイドスローとして貴重な存在となる。6位の豊田寛(日立製作所)は長打力のある右打ち外野手。積極的な打撃で、逆方向にも大きな当たりを打てる。脚力があり、送球も安定している。だが、プロで広い甲子園で右翼を守るのは厳しいかもしれない。右の外野手が少ない中で、1年目からどれだけアピールできるか。

7位の中川勇斗(京都国際高)は判断力に優れた捕手。キャッチング、特にフレーミングの技術に長けていて、さらに肩が強く、送球も安定している。小柄だが、振り切るスイングで強い打球を打てるのも特長だ。

◎…絶頂期 ◯…上昇期 ○…安定期 ☹…衰退期、もしくはケガ、ケガ明けの不安 ☹…奮起を! ◯…育成中



前川右京は不調の時期も木製バットではよくとらえられたという。その打力を見せたい

小園健太(市和歌山高)の抽選は外したが、高知中時代から注目されてきた逸材の森木大智(高知高)の獲得に成功した。全体では投手に偏っているが、年齢のバランスはとれている。将来のエース候補に即戦力の先発に

マイナスポイント

内野手を1人も指名しなかったのは気になるが、大きなマイナスではない。現有戦力の強化を図りつつ、来年のドラフトで補強しよう。真面目で練習熱心な選手が多いものの、関西気質に合う選手がいるかどうか。他球団より注目を集めやすい球団には、周りの声を気にしないタイプが向いている。メディアとファンは温かく見守り、選手たちは頭で考えすぎずに、持っている力を体で思い切り表現し

リリーフとタイプも様々で、投手強化をメインとした指名になった。また、ロマン型よりも計算の立ちやすい選手が多く、手堅いドラフトになった印象だ。

即戦力

てほしい。

ドラフト採点

80点

補強ポイントおさらい

- ① 左腕の先発型投手
- ② メンタルお化け
- ③ 右のスラッガー
- ④ 守備力高い二遊間

- 森木 大智** (投手・高知高) ↑
▶馬淵監督との戦いでもメンタル鍛えられた
- 鈴木 勇斗** (投手・創価大) ↗
▶人間力で甲子園のプレッシャーに立ち向かう
- 桐敷 拓馬** (投手・新潟医療福祉大) ↗
▶勢いつくチームの先重左腕に続いていきたい
- 前川 右京** (外野手・智辯学園高) →
- 岡留 英貴** (投手・亜細亜大) →
- 豊田 寛** (外野手・日立製作所) →
- 中川 勇斗** (捕手・京都国際高) →

のストレート、スライダー、ツーシーム、チェンジアップにフォーックを投げ分け、強気に内角を攻められる。

鈴木も桐敷も先発、リリーフどちらでもこなせそうな投手。チーム状況と実戦での適性を見て、役回りが決めていくだろう。

5位の岡留英貴(亜細亜大)は速球派の右サイドハンド。140キロ中盤のストレートは力があり、変化球はスライダー、カットカーブ、ツーシームを投げる。ツーシームに磨きをかけ、ゴロを打

2位の鈴木勇斗(創価大)はパワータイプの左腕。身長は174センチと小柄だが、リリースポイントが高く、角度のあるストレートが武器。今年習得したツーシームでバットの芯をずらすこともできる。

3位の桐敷拓馬(新潟医療福祉大)は奮三振能力が高い左腕。ドラフト後の秋のリーグ戦では完全試合を達成した。140キロ中盤

育成ドラフト 1:伊藤 稜(投手・中京大) 一覧



HANSHIN TIGERS

阪神タイガース

抽選に外れても1位・森木なら上出来の立ち回り意表を突く指名も戦力にする不思議な力を発揮が